

津南警察署協議会議事録

令和7年度第1回津南警察署協議会	
日 時 場 所	令和7年7月1日（火）午後1時30分～午後2時45分 津南警察署2階大会議室
出 席 者	1 警察署協議会 9名 稲森三也委員、岩脇里司委員、奥田浩三郎委員、川俣佳彦委員、鈴木洋一委員、福井賛委員、松本英子委員、山中里恵委員、山野重俊委員 3 警察署 10名 署長、副署長、会計課長、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
1 警察署長挨拶 2 警察署幹部紹介及び警察署協議会委員自己紹介 3 会長、副会長の選出及び挨拶 警察署協議会委員の互選により、会長に福井委員を選出した。会長が稲森委員を副会長に指名した。 4 管内治安情勢（警察署長） (1) 津南警察署の組織構成及び管轄区域 (2) 刑法犯認知・検挙件数 (3) 特殊詐欺認知・検挙状況 (4) SNS型投資・ロマンス詐欺認知・検挙状況 (5) 人身安全関連事案対応状況 (6) 暴力団・薬物犯罪検挙状況 (7) 交通事故発生状況 5 協議内容 (1) 交通安全対策について ＜委員＞ 津南署管内で信号機のない横断歩道における交通事故は発生しているのか。 【署長】 本年中、1件発生している。 ＜委員＞ 他県で小学生の発想から、横断歩道の手前で運転手が気付くような赤いマークを表示することがあったと聞いている。そのようなことは実施されないか。 【交通課長】 今後の反映、導入を検討していく。 ＜委員＞ 横断歩道手前に表示される菱形マークが不鮮明となっている箇所が見受けられることや、新たな横断歩道設置を求められることについて、対応は可能か。 【署長】 道路標示修繕箇所を把握の上、早急な対応を図っていく。横断歩道設置要望については、先が見えにくいこと等で危険な場合は設置しないことを含め、協議を図っている。	

＜委員＞ 夕暮れや雨天等、薄暗くなっていると、ヘッドライトが点灯していることで視認が容易となり、安全性が高まると思われるが、ヘッドライトを点けるタイミングはあるのか。

【署長】 視認性が容易となるよう早めの点灯が望ましい。薄暮時等で早めの点灯を引き続き啓発していく。

＜委員＞ 津市内の交差点で、衝突事故車両が交差点角の歩道に突っ込み、そこにいた中学生が亡くなることがあった。交差点角の歩道へ車両が突っ込むことを物理的に防ぐための施設の設置を計画的に推進できないか。

安全施設の設置は、見守り活動等の人員を割く必要がなくなり、その人力を他の活動へ活用できると思われる。

【交通課長】 交差点角の歩道に、ポール等の設置が有効であると考えられる。歩道の安全施設の設置については、道路管理者が設置するものであるが、教育委員会、道路管理者等の関係機関と通学路の見直し等について協議する場があり、その場で安全施設設置について意見することが可能である。

(2) 犯罪発生状況について

＜委員＞ 窃盗犯の内、侵入窃盗の認知件数が増加している状況であるとの説明であったが、これは空き巣ねらいが増加しているのか。

【署長】 刑法犯の認知件数の約7割が窃盗事案であり、その中で空き家を対象とした侵入窃盗が増加している。昨年は、太陽光発電施設の導線ケーブルの窃盗が多く発生している。また、無施錠の自転車盗が多く発生している状況で、利用者の確実な施錠を広報している。

6 署長謝辞

備 考	
-----	--